

## 哲学概論(Philosophy)

担当教員名	松川 絵里	
学科・専攻、科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 人文科学・社会科学系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-1(20%) A-2(30%) B-2(20%) C-1(30%)
	JABEE基準1(1)	(a)(b)
科目的概要	「嘘をつくのはいつも悪いことか」、「生きる意味とはなにか」といった哲学・倫理学の基本的な問題について、様々な哲学者の思想を学び、考察する。また応用編として、PL法や内部告発など技術者が直面する倫理問題について、具体的な事例や法律を学び、分析する。	
テキスト(参考文献)	シャロン・ケイ、ポール・トムソン著『中学生からの対話する哲学教室』(玉川大学出版部) その他の資料については、適宜配布する。	
履修上の注意	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。	
科目的達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・哲学・倫理学の基本的な問題について、哲学者の思想を学ぶ。</li> <li>・技術倫理の基本的な問題とその具体的な状況を学ぶ。</li> <li>・「理由を述べる」、「定義する」、「前提を明らかにする」などのシンキングスキルを身につけ、暮らしや社会のなかの身近な問題について、哲学的に考察する力を養う。</li> </ul>	
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習として、次回扱われるテーマや問題について、テキストや配布資料を読み、疑問点を整理しておくこと。</li> <li>・授業で取り上げられた問題や事例についてテキストや配布資料を参考に各思想の可能性と限界、また複数の思想の共通点と相違点を分析すること。</li> <li>・授業で取り上げられた問題について、身近な事例を探し考察すること。</li> <li>・紹介された文献を読み、哲学や技術倫理の問題への理解を深めること。</li> </ul>	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	<p>以下の(1)～(2)を総合して、60%以上を合格とする。</p> <p>(1)試験(60%)：期末試験で、哲学の基本的な問題と技術倫理の問題について学習到達度をはかる。</p> <p>(2)課題と平常点(40%)：レポート、出欠状況、授業態度から、学習意欲、授業理解度をはかる。</p>	
連絡先	e.matsu145@gmail.com	

授業の計画・内容	
第1週 哲学とはなにか？	哲学の知と他の知はどうちがうか
第2週 哲学・倫理学の問題 1	愛とはなにか
第3週 哲学・倫理学の問題 2	美は事実か趣味か
第4週 哲学・倫理学の問題 3	真になりえないものはあるか
第5週 哲学・倫理学の問題 4	嘘をつくのはいつも悪いことか
第6週 哲学・倫理学の問題 5	現実は受け入れるべきものか
第7週 哲学・倫理学の問題 6	差別とはなにか
第8週 レポート作成	
第9週 哲学・倫理学の問題 7	動物には権利があるか
第10週 哲学・倫理学の問題 8	政府がなかつたらどうなってしまうのか
第11週 哲学・倫理学の問題 9	生きる意味とはなにか
第12週 技術倫理 1	技術倫理とはなにか
第13週 技術倫理 2	製造物責任法（PL法）を考える
第14週 技術倫理 3	内部告発を考える
第15週 グループ・ディスカッション	
期末試験	